

入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：令和6年2月14日)

開催日及び場所		令和5年12月5日(火) 中会議室			
委員		中田 勝也(弁護士) 中村 道子(公認会計士) 山本 和朗(ジャーナリスト)			
審議対象期間		令和5年1月1日～令和5年6月30日			
審議対象案件		36件 うち、1者応札案件 19件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件			
抽出案件		5件 (抽出率 13.9%) うち、1者応札案件 3件 (抽出率 15.8%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 0.0%)			
抽出案件内訳	工事	一般競争		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			工事希望型競争		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		随意契約		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	業務	一般競争		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			簡易公募型競争		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		随意契約	公募型プロポーザル		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			簡易公募型プロポーザル		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			標準型プロポーザル		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の随意契約		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		物品・役務等	一般競争		3件 うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			指名競争		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	随意契約(企画競争・公募)		1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
	随意契約(その他)		1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
	(特記事項)				

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	(詳細に記述すること。) 別紙のとおり	(詳細に記述すること。) 別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]	特になし	

事務局：農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター総務課

(注1) 必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所要の変更を加えることができる。

(注2) 公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答等
<p>○筑波産学連携支援センター庁舎他で使用する電力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応札は一者だが、他に関心を示した事業者はあったか。 ・ その1社が応札しなかった理由は何か。 ・ 過去年度においては、どの程度の会社が興味を示していたのか。 ・ 令和3年度、令和4年度の契約相手方はどこか。 ・ 再生可能エネルギーの要件は何年度から仕様に入っているか。 ・ 令和3年度は4者が応札、令和4年度は2社が応札ということであるが、国の方針により再生可能エネルギーが入札要件に入ってくるので、応札或いは関心を寄せる会社にとって厳しい状況になっているのではないかと推測されるが見解はいかがか。 ・ 1者応札は好ましい状況ではないと一般的に言われているが、1者応札をなるべく回避する努力は何かしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落札事業者の他に、1社が入札説明書を受領している。 ・ アンケートでは自社都合によるということであったが、入札時点において電力需給の情勢が厳しく、供給するだけの電力の確保が困難であるとの理由を聞き取っている。 ・ 令和4年度は、落札事業者を含め6社に入札説明書を交付している。応札は2社であった。令和3年度は、7社に入札説明書を交付しており、応札は4社であった。 ・ 令和4年度は今回落札した事業者であり、令和3年度は今回落札した事業者とは異なる事業者が契約相手である。 ・ 令和4年度から仕様に入れている。 ・ 応札者が減ってきたという状況にあるかもしれないが、国の方針であるため、当方としては再生可能エネルギー30%（RE30）の要件を付しているところである。 ・ 公告方法について、当センターのウェブページへの掲載、関係機関の掲示板への公告掲示、最近にあっては、調達ポータルという調

意見・質問	回答等
<p>・近年、官公庁或いは自治体等で電力供給が厳しいということで、どのケースにおいても応札者が少なくなっているように見受けている。入札が不調に終わるケースも散見されるが、庁舎の維持には電力が不可欠である。入札不調が続くと非常に厳しい状況になるかと思うが、事前の対策の考えはあるか。</p> <p>○筑波産学連携支援センター電気・機械設備等運転保守管理業務</p> <p>・本件について予定価格は非公表か。公表、非公表の基準はあるのか。</p> <p>・過去に落札した事業者はどこか。1位との入札金額に乖離があるが、今回2位、3位の事業者が落札したことはあるか。</p> <p>・契約金額は公表されるのか。</p> <p>・今回の落札事業者が、連続して落札している実績があるということだが、予定価格の決定に当たって参考見積をいくつかの会社から取るのか、それとも積み上げ計算をして内部で積み上げる方法か。</p> <p>・それらの参考見積は、どこから取るのか。</p> <p>・毎年、そのようにしているのか。</p>	<p>達情報の総合的サイトへの情報掲載等により、広く周知しているところである。</p> <p>・RE30の要件を設けることにより、入札が不調となった場合に備え、2回目の入札執行が可能となるよう、早い時期に入札を実施している。2回目の入札が不調になった場合は、一般電気事業者と最終保障供給契約を締結する考えである。</p> <p>・本件の予定価格は非公表である。予定価格は原則非公開であり、予定価格が250万円以上の工事契約について公表しており、省全体で統一的な取り扱いである。</p> <p>・過去5年間において、今回の落札事業者が何れも落札している。過去において、今回2位、3位の事業者が落札したことはない。</p> <p>・公表している。</p> <p>・基本的に積み上げによるが、昇降機（エレベータ）や自動ドアの保守点検業務などについては、参考見積を取った上で積算している。</p> <p>・それぞれの製品メーカーから取っている。</p> <p>・毎年そのようにしている。</p>

意見・質問	回答等
<ul style="list-style-type: none"> ・今回2位、3位の事業者の応札金額は公表されるのか。 ・結果的に同一の者が何年連続で落札しても競争は働いているという言い方になると思うが、国の入札の基準で同一の者が継続的に受注していくことについての歯止めのようなものはあるのか。 ・農林水産省だけでなく、国の機関は同様と考えるとよいか。 ・本件の業務内容としては毎年変わらないものか。 ・業務内容が変わらないのであれば、過去5年間の契約金額も、同じような金額であったのか。 ・別に契約していた業務をまとめることによるスケールメリットは、どの程度あったのか。 ・令和5年度は新たな業務が加わった事情もあると思うが、落札事業者と他者との応札金額の開きが大きいため、他者も契約相手として参入できるよう努力いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公表するのは契約金額のみであり、それぞれの応札金額は公表しない。 ・毎年一般競争をした結果、同一の者が落札しているものであり、特段、歯止めとなるような制限はない。 ・そうである。 ・細かい部分に変更もあるが、基本的には業務内容は変わらない。 ・令和5年度より、これまで別に契約していた研究用水施設に関する業務を、スケールメリットと事務効率化のために本契約に加えており、契約金額が上がっている。ただし、令和4年度以前については、毎年、同程度の契約金額となっている。 ・前年度と比較して契約金額自体は上昇したが、令和5年度仕様書では点検回数や点検内容を増やした業務があり、また、労務単価についても上昇していることから、それらを加味して比較すると、スケールメリットは3.4%程度あったと分析している。 ・ご指摘を踏まえ、検討したい。

意見・質問	回答等
<p>○コニカミノルタ複合機保守業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コニカミノルタ複合機であれば、同社と保守契約をするのが当然であり、導入時点で複合機の保守の期間を含めたトータルの金額で契約の相手方を決めるのが合理的だと思われるが、そうした考え方はあるのか。機器を導入した後、保守について毎年度入札しているのは何故か。 ・予定価格は、どのように算出しているのか。 ・導入で安価であっても、その後の保守の価格が高いということも考えられる。長期的なスパンでトータルコストを考えていかないと、コストの削減にならないのではないか。 ・複合機本体はリース契約なのか、購入契約なのか。 ・何年間使用するという条件を付して購入しているのか。 ・国の機関の場合、おおよその省庁はリースではなく、購入という方法を取っているのか。 ・本体購入はコニカミノルタ複合機で一般競争を行い、保守については当初からコニカミノルタジャパンと契約しているのか。 ・こうした保守の契約形態をとると、他メーカーの複合機についても、一般競争という形 	<ul style="list-style-type: none"> ・保守契約について、コニカミノルタ社しか契約できないという前提ではなく、複合機の販売店等も契約は可能であるため、そうした会社が参入できるように毎年一般競争しているところである。 ・過去の実績使用枚数を参考に、一年間の保守金額を算出している。 ・ご指摘を踏まえ、検討したい。 ・本体は購入契約である。 ・そのような条件は付していない。 ・当省内においては、リース契約、購入契約の統一はされていない。他省庁については、把握していない。 ・本体購入の一般競争の際には、メーカーを指定していないため、センター内でもコニカミノルタ社製の複合機と他メーカーの機種が混在している状況である。本件については、当初からコニカミノルタジャパンとの保守契約が続いている。 ・他メーカーについては、台数が少ないため、入札を行う金額まで達しないが、状況として

意見・質問	回答等
<p>であるが結果的に応札は1社、落札率100%ではないかと類推されるが如何か。</p> <p>○農林水産省研究ネットワーク（MAFFIN） 設備運用支援、総合監視及び分析業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募しているが、結果的に随意契約になっているのは何故か。 ・予定価格はどのように算出しているのか。 ・MAFFINのサービス開始時期はいつか。また、MAFFINの次期更新はいつ頃か。 	<p>は同様であると認識している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件については、随意契約を前提にしており、公募は参加者の有無を確認するために行っているもので、応募がなかったため随意契約としたところである。 ・本件の業務内容は、おおまかに分けて機器の保守契約と機器の運用支援（人件費）であり、それぞれ参考見積りや過去の契約実績額等から算出している。 ・MAFFINとは、ネットワーク回線の提供を指しており、インターネット回線に接続するようになったのは平成7年ころである。回線契約の更新は令和8年1月を予定している。ネットワークの機器については、EOL（製品のライフサイクルの終了）を迎えたときなど、随時に更新している。
<p>○農林水産省研究ネットワーク（MAFFIN） 通信回線提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・48ヶ月間の回線提供期間とした契約ということだが、令和3年度に3ヶ月分の一般競争入札を行った趣旨は何か。 ・フィリピンの研究機関と接続する国際光ケ 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に当該年度の契約期間である1月～3月分の入札を行い、その後の年度においては、12ヶ月分を随意契約するという形式を取っている。本件は仕様の確定、調達手続きに長期間を要するため、48ヶ月のスタートを年度の後半である1月としている。 ・海底ケーブルを利用した回線を今回の契約

意見・質問	回答等
<p>ケーブルである海底ケーブルとなると、自動的に今回の契約事業者しかないと思われるが如何か。</p>	<p>事業者しか提供できないということではない。以前は他の通信会社と契約していた経緯もあり、最初の入札において競争性は確保されていたと認識している。</p>